

エネルギーの鍵は

Mg が握る

【4】

半導体、液晶ディスプレイ、有機ELなどのハイテク関連装置・機器を幅広く取り扱うワイエイ

ワイエイシホールディングス(株)
代表取締役

百瀬 武文 氏に聞く



ミニウム(A
L)電池、ア
ルツハイマ
型認知症の早期発見装
置、物流用紙包装機、毛
髪スライス縦断装置の開
発を進めている。今回、

球上に豊富に
存在し、かつ
再利用できる
ため環境負荷
を低減でき
る。また、リ
チウムイオン
電池(LiB)
一方、A1電池は負極

開発し、Mg電池と同様、
22年度内の製品化を目指
す。
Mg電池とA1電池は
従来の化石燃料を活用し
た発電機よりも脱炭素で
あるため、当社が掲げる
SDGs推進の理念に合
致する。近年、地球温暖
化により大型台風や線状
降水帯が発生するなど自
然災害のリスクが高まっ

中だ。数日間にわたって
スマートフォン、ノート
PC、冷蔵庫、液晶テレ
ビ、エアコンなどの電源
として活用することを想
定している。燃料のMg
やA1は当社側が供給・
回収するスキームを検討
している。無論、再利用
することも考えている。
——今後の展望を。
百瀬 Mg電池とA1

電池を製品化している企
業は少ないが、いち早く
製品投入することで先鞭
をつけた。一方で、Mg
は主に中国で生産され、
輸入していることから現
段階ではコストが高い。
今後、SDGsの広がり
によりMg発気電池の需
要が増えることでコスト
ダウンが進むだろう。こ
れによりさらに急速に販
売台数が拡大する可能性
が大いに期待できる。
当社は1973年の創
業以来、半導体、液晶デ
イスプレー、有機EL、
LED、太陽電池、電力
といった分野の装置・機
器を開発・製造・販売し
てきた。おかげさまでハ
イテク関連装置メーカー
として高い評価をいただ
いている。今後も最新技
術を提供することでお客
様のニーズに対応すると
ともに社会に貢献してい
きたい。

(聞き手・東哲也記者)

シホールディングス(株)
(東京都昭島市)は、2
023年5月に創立50周
年という節目を迎える。
そんな同社が新たな企業
理念の1つとして掲げる
のが「SDGs経営の推
進」。その理念を象徴す
る新製品としてマグネシ
ウム(Mg)電池、アル

Mg電池およびA1電池
への取り組みについて代
表取締役社長の百瀬武文
氏に話を聞いた。
——Mg電池とA1電
池について。
百瀬 いずれも非常用
電源、災害・BCP対策、
防災用途として開発を進
めている燃料電池(FC)

のようにレアメタルを使
用することがないことか
ら、普及すれば大幅な低
コスト化が期待できる。
さらに水素燃料のFC
や、LiBよりも安全性
が高い。
当社は大学教授と連携
し、OEM供給を目指し
て製品化や量産体制の整

にA1、正極に空気、電
解質に水酸化カリウムな
どを用いる。Mg電池よ
り出力が3倍程度高いの
が大きな特徴だ。現在、
ジャパン・クリア・エー
ジェント(株)と共同開発を
進めており、すでにデモ
機を開発済みだ。今後、
用途に合わせたモデルを

ている。企業、病院、大
学、自治体などは大規模
停電に備えて非常用電源
を導入しているほか、被
災地では非常用電源が不
可欠となるが、そうした
ニーズに応えたい。
——出力や燃料などに
ついて教えて下さい。
百瀬 出力は100W
や200Wな
どが考えられ
るが、用途に
合わせて検討

Mg電池やA1電池を開発

パートナーと連携し年度内製品化

合わせて検討

